



寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB

R.I.会長
ゴードンR.マッキナリー
第2570地区ガバナー
高丹 秀篤
第4グループガバナー補佐
原島 生慈



令和5年7月12日(水)
会場 料亭 園

第2699回例会

司会 山口 正彦 (SAA)
点鐘 松本 則之会長 (12:30)
ソング 奉仕の理想

お客様

第4グループガバナー補佐 原島 生慈さん
秩父ロータリークラブ 会長 関根昭文さん
石川 浩さん
米山奨学生 史 楠さん

1. 会長の時間

松本 則之さん

皆さん、改めましてこんにちは。先日日曜日、赤坂さんと一緒に米山のセミナーに参加してきました。奨学生というのは、自分の住んでいる国を離れ、住み慣れた環境を離れ、異国の地で学を修め、希望に満ちた塊でございます。そういった小学生たちと接すると、おのずと私も多くの勇気をいつも分けていただいております。寄居クラブにも奨学生の楠ちゃんがございますので、ぜひ皆さん交流していただいて、自分自身もいろんな不安や怖さと闘いながら、精一杯の勇気を集めて、今の地位までたどり着いたと思いますので、初心を思い出すべくいろいろな交流を深めていただければと思います。

本日秩父クラブの皆様、繰り返しになりますが、本日は猛暑の中、寄居クラブまで本当にありがとうございます。秩父クラブさんの存在が、やはりよりクラブもしっかりしたクラブにしておこうというモチベーションとなっておりますので、今後も切磋琢磨し、あるいは協力しながらともに素晴らしいクラブへ発展できるように、お互い頑張っていければ幸いです。

本日はいろいろなプログラムがございまして時間もありませんので、簡単ではございますが、会長の挨拶といたします。どうもありがとうございます。

2. 幹事報告

松本 幸男さん

改めましてこんにちは。幹事報告をさせていただきます。

まず、ガバナー補佐の原島様、本日はありがとうございます。そして秩父ロータリークラブ、会長関根様、石川様、ありがとうございます。本日はよろしくお願いたします。



さて、幹事報告がいくつかありますが、時間の都合もありますので、とりあえず今月一番大事な再来週、7月26日のガバナー公式訪問について報告させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

まずは、先週もお話ししましたが、集合時間が30分ほど早くなっています。準備等もございますので、早めの集合でお願いいたします。

よりの会館の2階の図書室が借りられましたので、そこで11時30分から会長と幹事との懇談後、対象の方との懇談を行います。寄居ロータリークラブの3年未満の会員の方を対象としました。対象会員の方のお名前を申し上げますので、よろしくお願いたします。権田功さん、高田徹さん、高倉隆綱さん、野村文昭さん、豊田康業さん、押田大輔さん、杉田大亮さん、土師賢一さんです。よろしくお願いたします。

懇談の流れを説明します。懇談終了後、ガバナーとその参加者は2階の大会議室に移動し、12時より食事をいただきます。ここからはいつもの寄居ロータリークラブの例会とはほぼ同じ流れで行います。

13時よりガバナーの卓話となります。13時30分に例会を終了し、点鐘となります。その後、10分後の13時40分からクラブ協議会を行います。クラブ協議会は4つのグループに分けて行います。事前にグループ分けと各グループにDL、書記を決めさせていただきますので、近日中にお知らせいたします。どうぞよろしくお願いたします。協議会のテーマはクラブ活性化です。フリーディスカッション方式で行い、時間は30分です。その後、各グループから発表をお願いいたします。発表時間は1グルー

プにつき3分以内です。そして最後に、高丹秀篤ガバナーからご講評をいただきます。

終了時間は14時40分から遅くても15時となっておりますので、よろしくお願いいたします。注意ですが、会場はよりい会館となっておりますので、よろしくお願いいたします。よりい会館の前の駐車スペースは、ガバナー、訪問者のために空けておきたいと思っておりますので、SAAさんのご協力を得ながら確保したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。会員の皆様は各自、近くの駐車場を探していただき、止めていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また当日、深谷ロータリークラブから3名の方がメイクアップに来る予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは7月26日は、皆様に更なるご協力をいただきまして、寄居ロータリークラブワンチームで頑張っていければと思います。楽しいガバナー訪問となりますようご祈念申し上げ、幹事報告とさせていただきます。ありがとうございました。

SAA 山口正彦さん

閉会后写真撮影もあります。写真撮影をしてから、クラブ協議会という流れでお願いします。

また、SAAの方は当日11時までに、よりい会館にお集まりください。その他にお手伝いをしたいという方がいらっしゃいましたら、拒みませんので11時までに来てください。皆さんで楽しく用意をしたいと思っておりますので、ぜひお手隙の方がいらっしゃいましたら、お手伝いよろしくお願いいたします。

米山奨学生 史 楠さんへ



史 楠さん ごあいさつ

いつもお世話になっております。ありがとうございます。6月末の引き継ぎ会に参加し、皆さんと食事することができて本当に嬉しかったです。その日、アンスリウムをいただき、家に持ち帰りました。今、家にある花が咲いているのはこれだけです。気温が上がると昼夜の寒暖差が少なくなり、家の多肉植物が緑色になり鉢花が映えます。中国語で万緑の中から紅一点です。見渡す限り緑の植物の中に、ただ一輪、紅色の花が艶やかに咲いている意味からきてい

ます。実は私は花を育てるのがとても好きです。外から帰ってきたら、多肉植物が元気に育っているのを見てとても嬉しいです。中国の母も多肉植物を育てるのが好きで、私たちは違う場所に住んでいますが、同じ趣味を持って嬉しいです。

時間の流れがとても早く感じます。もうすぐ7月も中旬になります。7月最後の2週間で今学期の内容を復習し、期末テストに向けて頑張っていきたいと思っております。また、8月に秩父音頭祭りと学友世界大会参加をすでに楽しみにしています。いろいろな活動の参加を通して、文化を体験し、学生生活を楽しく、充実して過ごしています。さまざまな経験をすることができました、本当にありがとうございます。最後にいよいよ暑さも厳しくなってきたので、皆様も熱中症に気をつけてください。以上です、ご清聴ありがとうございます。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会 赤坂 匠康さん

皆さん、改めましてこんにちは。今日は原島ガバナー補佐様、関根会長様、石川様。寄居ロータリーへようこそおいでくださいました。ありがとうございます。年度が変わってガバナー補佐の訪問ということで、いよいよ新年度が始まると感じます。

本日、出席報告の前に、皆さんのお手元に欠席届を配布させていただいています。これについて、なぜ再度配布するのか疑問に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、新しい会員も加わったことから、欠席届について再確認をさせていただきたいと考えています。現在、欠席の連絡方法がまちまちなところがありますので、一つの方法に統一させていただきたいと思っております。

事務局としては、欠席届をFAXで送っていただくのが最も確実だと考えていますので、これを正式な方法として一本化させていただきたいと思っております。電話で欠席をお伝えいただく場合もあるかと思いますが、その際も改めて欠席届をFAXで送っていただくようお願いいたします。皆様のご協力をいただければ幸いです。

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
7月12日	35	4	31	0	88.57%
7月 5日の修正出席率					96.96%

(3) ニコニコボックス委員会 下条 誠さん

皆さん、こんにちは。お世話になります。今日は2回目のニコニコボックス。前回は紙を見ていたり計算していたり演台側にいることまで気が回りませんでした。今日改めて気がつき、背筋がピンとする思いです。

原島 生慈さん 公式訪問でした。一年宜しくお祈りします。 **多めにいただきました**

松本 則之さん 原島生慈ガバナー補佐、秩父ロータリークラブ会長 関根昭文様、秩父ロー

- タリークラブ 石川浩様、猛暑の中
寄居ロータリークラブまでありがとうございます。
ごさいます。本日はよろしくお願ひいたします。
- 松本 則之さん 連日の猛暑ですが、体調に気を付けロータリーライフを楽しみましょう。
- 松本 則之さん ナンちゃん、ご苦労様。
元気そうでうれしいです。
- 松本 則之さん 園さん、おいしいお食事、
いつもありがとうございます。
- 松本 則之さん 大谷翔平の32号ホームランを祝って
長々と失礼しました。
- 松本 幸男さん 原島ガバナー補佐様。本日の書類チェ
ック大変勉強になりました。
ありがとうございます。
- 松本 幸男さん 秩父RC 会長関根様 石川様
寄居RCにようこそ!! 本日は楽しんで
いってください。今後ともよろしく
お願ひいたします。
- 荻野 幸一さん ガバナー補佐 原島さん。
ご指導、宜しくお願ひします
- 吉野 泰久さん 先週末は4年ぶりに夏を実感しまし
た! 寄居夏祭りで神輿を元気に担ぎき
れた。「ストレス発散して来れた」
今週末は赤濱の応援(神輿担ぎ)です
~うれしい。
- 佐橋 正行さん 原島ガバナー補佐、関根様、石川様
寄居RCへようこそ。本日はよろしく
お願ひします。
- 浅見 克一さん 原島ガバナー補佐。寄居ロータリーク
ラブへようこそ。御指導よろしくお願
ひ致します。
- 小宮 俊光さん 原島ガバナー補佐、関根さん、石川さ
ん。ようこそ寄居RCへ。卓話楽しみ
にしていました。宜しくお願ひしま
す。
- 山口 正彦さん 原島ガバナー補佐、関根会長、石川様
ようこそ寄居クラブへ。今日一日楽し
んで下さい。
- 鈴木 光則さん 原島ガバナー補佐、お疲れ様です。よ
うこそ寄居クラブへ。本日、車の気温
計38℃でした。あつい。
- 鈴木 光則さん 川本クラブ 松葉会長、鈴木マーチャ
ン幹事、ようこそ寄居クラブへ。
- 鈴木 光則さん W松本会長、幹事のスタートを祝し
て!! がんばれ!!
- 柴崎 猛さん 原島生慈ガバナー補佐、寄居ロータリ
ークラブへようこそ。御指導よろしく
お願ひ申し上げます。
- 清水 浩一さん 原島ガバナー補佐、寄居RCへようこ
そ。御指導宜しくお願ひ致します。
- 加藤 祐司さん ガバナー補佐 原島生慈様、ようこそ
寄居ロータリークラブへ。本日はよろ
しくお願ひいたします。
- 安齋治一郎さん 原島ガバナー補佐、ようこそ寄居RC
へ。ご指導、宜しくお願ひ致します。
- 大久保知明さん 原島補佐、関根会長、石川様
ようこそ寄居RCへ。
- 赤坂 匠康さん 原島ガバナー補佐様、ようこそ寄居R
Cへ。御指導よろしくお願ひします。
本日は奨学生の史楠さんも参加なの
で、是非ごあいさつさせていただきます。
よろしくお願ひします!
- 荻野 真仁さん 原島ガバナー補佐様。本日ご指導よろ
しくお願ひいたします。
- 橋本 則彦さん 原島生慈ガバナー補佐、ようこそ寄居
ロータリークラブへ。本日はよろしく
御指導をお願ひします。
- 森田 淳一さん 原島ガバナー補佐、関根会長、石川様
ようこそ寄居RCへ。皆様、宜しくお
願ひ致します。
- 吉田 昌弘さん 原島様、関根様、石川様
ようこそ寄居RCへお越しいたきあ
りありがとうございます。
- 小鮒 哲夫さん 園さん、いつもお世話になります。
本日もよろしくお願ひします。
- 高田 徹さん 原島ガバナー補佐をはじめ、秩父RC
の皆さま、ようこそ寄居RCへ!! 本
日は何卒よろしくお願ひ申し上げま
す。
- 権田 功さん よろしくお願ひします。
- 高倉 隆綱さん 原島ガバナー補佐、ようこそ寄居RC
へ! 本日はよろしくお願ひ致します。
- 豊田 康業さん 原島様、関根様、石川様
ようこそお越しくございました。本日
もよろしくお願ひいたします。
- 下条 誠さん 原島生慈ガバナー補佐、本日はご指導
よろしくお願ひします。
- (3) 会員増強・維持委員会 安齋 治一郎さん
改めましてこんにちは。原島様、関根様、石川様、本日は
よろしくお願ひします。
今年度は増強委員長ということで、今日は見慣れないボ
ード、カウントダウンボードを作ってきましたので、ご説
明します。今現在35名ですので、秩父ロータリークラブ
さんように近づくように今年目標40名ということで、
紹介カードもお渡ししますので、一人一名で結構ですので、
この人はロータリーにふさわしいという人を紹介いた
だいて、紹介カードに記入いただき、カウントダウンボ
ードの後ろに入れるところがあるので、そこに入れていただき

たいと思います。皆様のご協力、よろしくお願ひします。

「卓話」

第4グループガバナー補佐 原島 生慈さん

皆さんこんにちは。秩父クラブの原島といいます。今日よろしくお願ひいたします。知らない方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単に自己紹介をさせていただきます。



本日、自己紹介と四つのことをお伝えしたいと思います。

自己紹介ですが、1960年の1月11日生まれで、現在63歳。ロータリー歴は17年。18-19にクラブ会長をさせていただき、21-22で公共イメージの委員長。今日ある

この冊子は一緒に公共イメージでやった後輩も入っているのですが、年齢の上の人もいるので、その人たちが前年度、何か公共イメージでやろうよという形で公共イメージ委員会が動いて、これを作りました。そして袋詰めを一緒手伝ってきました。私が地区の方に、行か

していただくようになったのは、公共イメージ、この辺からです。職業分類は、保険の代理店でございます。好きな言葉は、「小賢は山陰に遁し大賢は市井に遁す」が大好きです。どういう意味かという、賢者は山にこもって勉強することをご承知のように、市井っていうのは、現場、街中です。僕は常に現場主義というのが大好きで、勉強するよりも現場に出ているいろいろ学びたいという、そんな言葉です。ただ、何とかなるさという思いが強いので、今回補佐を受けるにあたって、結構いろいろあったのですが、断って断って断って断って断りきれないみたいなそういう状態でございます。補佐は大変だと皆さんに言われるのですけれど、そんなでもないかなと。それよりは、地区に行ってる方、実は副幹事の方がよっぽど大変で、この間の委員会も多分、米山もそうかもしれませんが、地区の副幹事とか、地区役員になると、いろいろ借り出されて、クラブの皆さんが知らないような苦勞をいろいろしますので、寄居クラブでもいろいろ行ってる方がいらっしゃいますので、私同様、そういう方に感謝していただければありがたいと思っております。

それから補佐の役割を次に話しますが、補佐の役割はクラブと地区を結びつける事です。さっき清水さんに「偉くなった。」と言われましたが、補佐は決して偉いものではありません。常に、地区とクラブを結びつける役割で、どちらかという、小間使いみたいなものです。ガバナーの露払いですから、先ほど幹事報告でもありましたけど、ガバナーの公式訪問のその準備も出てきますけど、そういうことをやらせていただいて、もっと言うと寄居クラブさんは来年また補佐なので、その補佐の方の露払いです、私は。そのぐらいに思っていたら、今日は気楽にできますので、よろしくお願ひします。

実はこれも今日、最初の書類のところにあつたのですが、

補佐は補佐でマイロータリーの方でいろいろ勉強してこいと、そうなっているのですね。推奨はですね、半期に一度は1クラブへ行けど。つまり四半期に一度。そんなに正直言って僕これはないと思いますので、なるべく足しげく通いたいというふうに思いますが、いろんな意見がありましたら、先ほど言ったように、地区と結びつけるのが役割なので、いろんな事を言ったら、それを持ち上げてガバナーに報告したり、地区とは元々、地区そのものがR Iと結びつけるもので、もちろんロータリーはクラブ主体ですがクラブだけが好き勝手してしますと、ロータリークラブではなくなってしまいますという思いが正直あります。その辺のところも今日伝えられたらいいなと思います。少し拙い話ではありますが、聞いていただければと思います。なんでこんなことになるかっていうと、地区は地区、クラブはクラブという形で、やっていることが伝わらないというのは、私の経験17年の中で、「地区がそんなこと言ってたってそんな俺たちには関係ないよ。」とか、地区は別に悪いことしているつもりはないはず。なかなかうまく伝わらないっていうことがあるのではないかな。よく会社でもちょっと大きくなるとこういうことがあります。皆さん社長の思いが現場に全然伝わらなくてというのによく似てるのではないかなと思います。だからそれを結びつけるメッセンジャーがいなくてなかなかうまくいかない。そう思いますので、必要に応じてアドバイスを、会員の声を聞いて吸い上げて、私でわかる範囲はお答えをしながら、地区と結ぶというのが役割の一つです。

それから、クラブリーダーシッププランの推奨というのが今日もありましたが、今月末、高丹ガバナーが来るときに、クラブ活性化と言っています。よくわからない私が言うのも変なのですが、CLPとはクラブリーダーシッププランで、これはどういうことかという、かなり会員数があちこちで減っているクラブが多いです。元々5大奉仕という形の奉仕プロジェクト、後でお話しさせていただきますけど、奉仕プロジェクトがなかなかうまくいかない中で、奉仕というジャンルで一つにまとめてしまうと、少なくともクラブを引っ張っていく、そういうプランを各クラブで考えましょうというのが元々のCLPです。だから別にCLPプランというのが出てきて、中を見るとたくさん書いてあるのですが、それを絶対やれって言う訳でもないです。秩父クラブでは、重鎮もいらっしゃる、その方々に話を聞いたりして、別にCLPっていうのは俺はこう思うよ。あ、なるほどね。だから秩父クラブでは取り入れない。寄居クラブでは、取り入れる。しかし中身を見ないとわからないので、ぜひぜひそういう中身を見ていただければなと。いずれにしても元気なクラブ作りのためのクラブリーダーを支援なさい。こういうのが補佐の役割になります。それから、これをやってこいと書いてあります。各クラブの現状をガバナーに報告することなので、今日僕は一生懸命メモしていたのですが、高丹さん第4グループで、前年度か前々年度が補佐だったので、多分知っているの

そんなに報告することもないかなと思っています。こういう役割をしているのが補佐です。それから公式訪問の準備ということですが、先ほど会長幹事の方でちゃんと組んで、どういうふうにやるか出来上がっているようですので、それに則ってやっていただければ。ガバナー公式訪問のときにまた補佐私も一緒に同席をさせています。

それから、先ほど松本監事の方から勉強になったとありがたいお言葉をいただきました。マイロータリーっていうのがありまして、これをR Iの方で進めていて、ロータリーっていうところに、いろんな形のデータがいろいろな形で出てくるのですが、そこを見ると、寄居クラブはまだ書き込みが少ないです。どのように出てくるかというような形でちょっとご紹介します。ダッシュボード・目標設定…というの出てきます。これ寄居クラブさんのデータです。下の方に行くと年齢比だとかですね、こういうデータが出てきます。この中で、リソースを見ると、入力の方も出ています。全部書類を確認させていただいたところ、寄居クラブ全部終わっています。ちゃんと書類もあって、全部揃っています。ただこういうところに書き込みがないので、今の若い方や、ガバナーたちは、高丹さん見ていると思うんですけど、他の地区でも、うちの地区のどこのクラブはどうだというのは、ここを見るので、空欄じゃもったいないから気がするので、入れることがベストではありませんが、入れておく方が良いのではというのが今日点検書類の中で感じた一つです。以下17項目点検しましたが、さすがにしっかりしてしまっていて、全部揃っていました。

あとはこれからデータ化していくと思います。紙で全部膨大な量が残ってるんですけど、これからはデータの時代なので、データで残した方がデータとしても扱いやすい良いのではないかなとも感じました。ガバナー補佐の役割は、直接クラブさんとの関係としてはこんなところかもしれません。

繰り返しになりますけど、またフラッと来させていただきたいということ。それから皆さんの声を聞かないと、僕の役目が果たせないということ。それから、リーダーの方、委員会でも、委員長でも、会長・幹事の方、こういう形への支援をできる限りさせていただこうとそういうことになりますので、よろしく願いいたします。

高丹ガバナーの地区の方針、今年度の方針をちょっと話をさせていただきます。

We are Rotary together. という形で希望を語ろうというのが高丹ガバナーの込める思いです。高丹ガバナーは補佐をやったときから2年後にガバナーになりました。

去年は地区があまりにも停滞していたというのが正直な思いだと思います。それで地区を活性化したいという思いが本当に非常に強いです。一生懸命その地区として、活動するのに、クラブを巻き込みながらやりたいという、そんな思いが非常に強いです。その中で、1人でも多くの会員が自分自身の中でロータリーを楽しみ、感じ、世界で地域社会で貢献できる思いやりの心を持つと常々語ってい

ます。Gがガバナー、次がガバナーエレクト、ガバナーノミニという形なのですが、2570地区は有名なガバナーが決まらないクラブです。補佐をやったことがある方だったら、みんな言います。

茂木さんのときは、あれも実は、やる人がいなくてお願いしてお願いしてガバナーになりました。そうすると何が良くないかという、いくつか難点がありまして、一つ困ったのは奨学生、海外にロータリーからの支援で行っている方に送金ができないのです。

ガバナーエレクトが次に引き継いで、印を押さなくて間に合わなくなって、送金ができなかった時期があります。今年はガバナーが高丹さん、エレクトが五十幡さん、ノミニの形で先方に入っている4クラブあるですね。今第4にちょっと偏っている。第1とか第2とか、あちらの方でも、やってもらう人を一生懸命探しています。1人いた方がクラブで反対されてしまった。大変良い人だったのですが、「このクラブからノミニなんか出せないと怒られちゃったので。」という感じです。こういう例も何か調整できると思います。なんかもったいないなど。次々年度年度まで決まると、地区がどのようにやっていくか、公式訪問に来たときにガバナーが言うと思うのですが、ロータリーの単年度の良さと、良くないところをフォローするのは間違いなくガバナーです。要するに、次から次へ、予定者が立っていく方がいいのではないかと思います。2570地区は全国でいつも決まるのが34地区中の34番目。そういう事を非常に危惧しています。まとめると、継続性の必要性。要するに、ロータリーは単年度で変わっていきますが、いろんなものが継続していかないといけない。しかし2570地区はそこが滞ってしまっている。先日の地区合同委員会のときに、いろいろな委員会は動くものの、こういう継続性をリーダーのアイデアや取り組みを前進させたい。そのために、変化や脱皮をするという、これも会長幹事さんと先ほどお話ししてもらったばかりですが、秩父クラブもだいぶジェネレーションギャップがありまして、変化を嫌う方も結構いらっしゃると思います。ただ時代は流れてるので、少しずつロータリーも時代に合わせる必要があるのかとこれはちょっと私の思いという形で後出させてもらいます。

ガバナープロジェクトということで三つ話します。DEI推進チーム。地区の中でDEI Diversity Equity Inclusionこれはできてるような気がします。それでもまだまだ、これはロータリーだけではないんです。世の中で今こういう動きで、多様性を認めましょう。公平性です。公平というのは、イコールが公平ではないと。例えば、僕のように大食漢。それから小食の人。同じ分量を与えたら、満足度同じかと言ったら決してそんなことない。同じ量だったら最初から僕はもっとほしいと思うし、少食の人はもうこれでお腹いっぱいというかもしれない。こういう多様性をいろいろなところで考えていきましょう。ということ。それからデジタルイン

フォーメーションの地区DX推進コミュニティ。これも改革の一つとして地区の継続性で、地区の事務所が変わりますっていうのが来ました。あれもこの1つです。次のガバナーが来て、その前のガバナーのことが全部データに残っていれば、こういうことをやって来たんだというのがわかることを残していきたい。もう始めています。それから去年の金井さんが、甞れ2570地区を立ち上げました。

ここからが実は私の補佐としての思いです。今日、期せずして、松本会長がロータリーを楽しみましょうという話をしました。これは全部ロータリーの会員の方がロータリークラブを楽しめるかというのが私の疑問です。私自身は結構楽しんでます。どういう意味で楽しんでるかということをお話をさせていただきます。一般的にはロータリーはこの二つではないでしょうか。王道の楽しみ方としては奉仕。100年以上奉仕という形でずっと繋がってるはず。もちろんその奉仕をするに当たっての親睦。これ歴史からこうやるってしています。ただ若い会員の方からずっとと言われるのは、「だからもうポリオの話はいいや」と言われます。僕もさんざん耳にタコで、1900年の話をされても全然違うので、そんなこといらないと。それで自分なりに考えてみました。クラブで好き勝手やっていいかっていうと、それは単なるお楽しみクラブになってしまう。何か芯がないといけないということで、私は奉仕と親睦というふうに思っています。一般的には親睦という形で。ただ親睦ばかりやってると、正直言ってみんな飽きてきます。私なんかは、毎週ご飯食べに行くだけだったら、何も正直言って面白味はないです。親睦という意味で、いろいろな方と知り合えるのもいいですが、17年もやってると、ほとんどいつも、しょっちゅう顔を合わせてるし、他の会議でも顔を合わせてます。それだけ考えても親睦が全てだと言われても、お金貸してくれるわけでもないですし、そういうことで考えると、両輪が大事なのです。ここに落とさせていただくと結構楽しめるかなと思います。私の経験からいくと、ロータリーバッチをしてるだけで、結構声をかけていただきました。

僕は保険の代理店で、まだ20期くらいなので、会社を起こしてからまだ間もなく、秩父では全然相手にしてもらえなかった。しかしロータリアンだというだけで結構信じてもらえました。深谷の方に行くと、いろんな形で提案をしたりしたときに社長さんが、「お前ロータリアンだろ。信じてやる。」とはっきり言われました。

面白味でいくと、前にもお話させてもらったかもしれないですが、伊豆の方に友達とゴルフへいきましたらそのゴルフ場が例会場でした。今だと連絡先を聞いておけば良かったと思うのですが、その方たちがロータリアンだとわかったので「僕も秩父のロータリアンです」といっただけで、ワッと寄ってきて、「よく来た、酒飲んでけ」と3本ぐらい飲ませてもらったりとか、そういう意味でロータリーって、入会式の時に、あなたはどこ行っても世界中どこ行ってもこれを持っていけばいいんです。とあるじゃないですか。

ああ、なるほどなど。これは面白味なのかなと。もちろんこれは親睦の部分だと思います。

奉仕という意味では、あまりにも大きすぎて、ポリオと言われても、正直言って私はピンとは来ていません。ただ、僕が出したそのお金が例え何分の1かでも、ここで役に立ってるんだという意味では、いつも自分にも言い聞かせている言葉ですが、「ロータリアンとしての自覚と自負。」これが持てたらロータリーは楽しめるかなと思います。これは前年度のRI会長が言った言葉の中に、「私は単なるロータリークラブの一会員でした。ところがあるときの奉仕を通じて初めてロータリアンになった気がします。」という言葉がありました。この言葉は私に響きました。ロータリークラブに入って、皆さんどこが好きですかと聞くと、大体首傾げます。自信を持って僕好きですという人は、はっきり言ってロータリー馬鹿だと思います。私、ロータリー馬鹿になりつつありまして、それには先ほど言った、ロータリアンとしての自覚と自負。例えばですが、1ロータリークラブの秩父ロータリークラブの会員ですと言うのと、秩父ロータリークラブのロータリアンですと言うのと、正直言って、マインドが違ってくるような気がします。私は本当にそう思っていて、今の現状のところ、ローターアクトがなんで入ってくるかっていうところ、僕は自分なりの説明がつく一つです。

ローターアクトというのは、奉仕だけで集まっていて、ロータリアンではないです。ローターアクトはロータリークラブの会員です。ちゃんと人頭分担当を払う。ロータリアンのロータリークラブとは一線を画してるんです。でも、会員数が減ってきているRIだとか地区もそうですけど、とにかく会費会員を集めないといけないという意味で、ローターアクトとも分担金を要するので、そういう意味で、ロータリーの一員として迎え入れたという多分それが経緯です。

それだったら、俺達のロータリークラブ関係なくて、もっと会員減るじゃないか。そういう意見もありますし、あちこちで聞きます。でもそれは違うと思います。ロータリークラブの会員っていうのと、ロータリアンというのは、多分心の持ちようが一つなのではないかと。先ほどロータ馬鹿と言いましたが、私が知ってる中で、息子さんはもう絶対入らないという方がいます。地区でもかなり重鎮の方です。息子さんののちに行くとロータリーには入りませんか。と言うと絶対嫌だと。俺の家がどれだけ不幸になったか知ってるかと。話を聞くと、もうその方は亡くなっていますけど、もう本当に全部ロータリー。ロータリーにかけたお金で、家1軒建ってる。親父が何が好きだったかわからないけど、絶対俺は嫌だと。これはロータリー馬鹿ですね。僕は自分ではそうは絶対ならないで、ロータリーを好きになろうと思っています。ここのヒントは過去のガバナーが言った、自分なりの奉仕でいいという言葉です。数年前に、日本人で50億円ぐらいロータリーに寄付した方だいました。すごいですね。それのときに、いくつか言

ったのですが、覚えてる限りでは「それを偽善者だとか、そういうことを言うんじゃない。自分たちは50億円出しても大丈夫のように、仕事一生懸命頑張れという。」だけどそんなこと10億円そんなことの財力もないし、でもそれが、50円でいいんだよ。50円の余力を出したらそれを出す、これでもう十分だ。」と。これでまた僕はちょっと元気になりまして、なるほど、ロータリー馬鹿になるけども、そんなに無理することもないのだなと。私は、やはりこれは絶対的にバランスだと思う。ロータリーと自分の仕事のバランス。このバランスで、あとはモチベーションですから。先ほど言ったロータリアンとしての自覚と自負で、できる限りの奉仕をする。奉仕をするには仲間がいないとだめだというシンプルな、そういう落とし込みができていくと、結構ロータリーは楽しめるというふうに思っています。少し長くなりましたが質問があれば質問を受けたいと思います。この辺で終わりたいと思いますが、何かあれば遠慮なく私の方に。地区の方とは繋がりたいと思いますので、お願いいたします。今日はご清聴ありがとうございました。

点鐘 会長 松本 則之さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2023.7.12 会 長 松本 則之 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
No. 2 幹 事 松本 幸男 副委員長 浅見 克一

・例会日時 毎週(水)12:30~13:30
・例会場 ホテルシティプラザ寄居
・住 所 寄居町大字桜沢888-1
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530